

令和6年度 あおば支援学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知徹底）	・公務員倫理意識の徹底を図る。	・通知文書等について管理職による迅速な周知を行った。 ・不祥事防止会議や朝の打合せの中で、時期を捉えて情報共有を行い、意識啓発を行った。
わいせつ・セクハラ行為の防止	・ハラスメントは著しい人権侵害であることを理解し、人権感覚を磨く。	・不祥事防止研修会を通して、同僚とのコミュニケーションの取り方についてSSTの実演を通して、意識啓発を行った。 ・職員間の情報共有を適宜行い、指導における適切な対応方法について意識啓発を行った。
体罰、不適切な指導の防止	・体罰・不適切な指導の根絶を目指す。	・人権研修会を通して、体罰や不適切な指導が行われないよう意識啓発を行った。 ・「人権が尊重された授業づくりのためのチェックリスト」を年2回行い、結果について共有した。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	・マニュアルに基づく確実な業務の実施と点検体制の確立を図る。	・管理職・総括教諭が中心となって、複数職員によるチェックや意識啓発を行った。 ・入学者選抜等に関する業務に集中できる時間の確保が引き続き課題である。
個人情報等の管理 情報セキュリティ対策	・個人情報の流出防止と情報管理の徹底を図る。	・個人情報に係る事故を防止するため、個人情報の取扱いについて、研修会を行った。また、個人情報の取扱いについて、必要に応じて朝の打合せ等で、注意喚起を行った。 ・個人情報の管理について、文書及び電子データそれぞれの取扱いについて整備を進めた。
交通事故防止 酒酔い・酒気帯び運転防止 交通法規の順守	・交通事故防止・飲酒・酒気帯び運転防止のための啓発を行う。	・朝の打合せや不祥事防止会議において情報提供及び意識啓発を行った。
業務執行体制の確保等	・情報を共有するための具体的な方法とチェック体制の在り方を構築する。	・朝の打合せ等でヒヤリハット・アクシデント報告を行う中で、再発防止に向けた取組みを考えることで、チェック体制の構築を図った。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

- ・令和6年度においては、事故・不祥事防止の意識を教職員一人ひとりが持てるように、研修会時にグループ討議をする場面を多く設定することで、一人ひとりの問題意識を高めることに大きな成果があった。
- ・令和7年度も引き続き、不祥事防止会議の設定を通して、一人ひとりがしっかりと意識できるような手立てを考え、重点的に取り組んでいきたい。